

令和6年度の概要です。

授業科目名	経営管理論
授業科目名（英字）	Management and Administration
時間割	前期 水曜日 2校時 第32講義室
対象年次及び学年	2年次
担当教員	松岡 久美
ナンバリングコード・水準	B1
ナンバリングコード・分野	BSN
ナンバリングコード・ディプロマ・ポリシー（DP）	bcd
ナンバリングコード・提供部局	E
ナンバリングコード・対象学生	2
ナンバリングコード・特定プログラムとの対応	O
ナンバリングコード・授業形態	Lx
ナンバリングコード・単位数	2

関連授業科目	経営戦略論、経営組織論、人的資源管理論
履修推奨科目	経営戦略論、経営組織論、人的資源管理論
学習時間	講義90分×15回＋自学自習（準備学習30時間＋事後学習30時間）
授業の概要	本講義は初めて経営学を学ぶ学生を対象として、企業経営の全体像は何か、経営学の全体像は何か、経営学を学ぶ意義は何か、経営学をどのように勉強すればよいか、などを説明すやすく講義したい。
授業の目的	経営学と企業経営の全体像を理解してもらうのが本授業の目的である。
到達目標	1. 企業と経営の仕組みについて自分の言葉で語ることができる（学士課程のDP「b：知識・理解」に対応）。 2. 企業経営の実際を考察する際に必要な基本的な考え方を身に付け、自身の問題意識と関連づけて考察することができる（学士課程のDP「c.問題解決・課題探求能力」に対応）
成績評価の方法	ミニレポート（30％：特に到達目標2に対応）、期末試験（70％：特に到達目標1に対応）により総合的に評価する。ミニレポートは複数回実施する。
成績評価の基準	成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。 秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。 優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。 良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。 可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。 不可（60点未満）到達目標を達成していない。 ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。 合格又は了 到達目標を達成している。 不合格 到達目標を達成していない。 授業は基本的にパワーポイントを使った講義形式で進める。また、ビデオなどの視聴覚教材も適宜使用する。 なお、受講者数が50名以下の場合には、グループワークを実施し、その結果を発表してもらう場合がある。 第1回 イントロダクション 第2回 企業経営の全体像 第3回 経営学の全体像 第4回 企業と会社 第5回 企業とインプット（金融資本・労働）市場との関わり 第6回 企業とアウトプット（製品・サービス）市場との関わり 第7回 競争戦略のマネジメント（Part.1）：基本的な考え方 第8回 競争戦略のマネジメント（Part.2）：違いを作る3つの基本戦略と仕組みの競争 第9回 多角化戦略のマネジメント 第10回 国際化のマネジメント 第11回 マクロ組織のマネジメント 第12回 ミクロ組織のマネジメント 第13回 キャリアデザイン 第14回 経営学の広がり（Part.1）：ファミリービジネスのマネジメント 第15回 経営学の広がり（Part.2）：病院組織のマネジメント ＊進捗状況などに応じて、授業計画を変更する場合がある。 【自学自習に関するアドバイス】 講義前・講義後には、テキストの関連内容について各2時間程度予習・復習をしてください。
授業計画並びに授業及び学習の方法	

	日頃から『日本経済新聞』や『日経ビジネス』『週刊ダイヤモンド』などのビジネス雑誌に目を通し、企業の経営動向について観察する習慣を付けてください。 この科目は全回対面授業を行います。なお、状況によっては全て又は一部の回の授業形態を遠隔に変更する可能性があります。
教科書・参考書等	加護野忠男・吉村典久編著（2021）『1からの経営学（第3版）』碩学舎。2,640円 （教科書は、受講生が各自で入手すること）
オフィスアワー	木曜日3時限目、事前にe-mail等でアポイントメントを取ること。
履修上の注意・担当教員からのメッセージ	本講義は2023年度以前の入学者向けの科目となっています。 2024年度入学者・他学部 of 学生は履修することはできません。 授業中の私語と携帯電話の使用を慎むこと。
参照ホームページ	
メールアドレス	matsuoka.kumi@kagawa-u.ac.jp